



## 中国近況

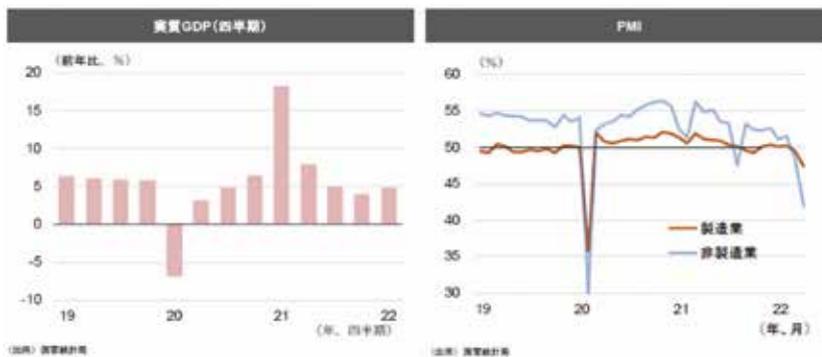
東莞東洋太科光学有限公司  
董事 中澤 潤



こんにちは、日々生産活動に対し皆様のご協力に大変感謝いたします。この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、今回は中国の近況をお知らせいたします。

国内外の中国の市況情報では添付グラフにありますように、全体には回復基調ではありますが、各国と



同様に依然としてコロナが中国経済に大きく影響を及ぼしています。PMI(購買担当者景気指数)も製造業、非製造業ともに低下。好不況の判断の目安となる50を、直近4月5月と2ヶ月連続で下回っています。

日常生活においても、私たちの会社のある長安の街も同じくコロナによる閉塞感が漂っています。人が歩いて10分圏内でPCR検査が出来るように、街の至るところに検査場があり、普段は住民の憩いの場である長安広場ですら特大検査場と化しています。政府の厳格なコロナ対策により、私たちは陰性証明を毎週義務づけられ、行動範囲も管理された状態で日々普段とは違う不自由な生活を送っています。と、まあ言い出せばきりがありませんので、これも早く感染が収束し以前の活気ある生活が戻ってくるためと前向きに捉え、能動的に行動し、どんな状況であれ“住めば都”この今を楽しもうと心がけています。

下記長安の風景を添付いたしますが、次ページには東洋太科特集で工場一体化をご案内いたします。2工場をひとつにし、東秀・光徳という呼び名は無くし(下期より)、益々強化された太科体制を、引き続き応援よろしくお願いします。



宿舎からの長安風景



我々が住んでいる宿舎



長安広場から写した長安政府と国際酒店



長安広場でのPCR風景

# 7月1日 Special feature 東秀工廠、光徳工廠合併

## 東莞東洋太科光学「一社体制完成」

センシングオプティクスを一段と進化させる為、2工場を1社体制としたことで、レンズ+精密機構部品を一元管理とし、よりスピーディーに効率よい体制作りが可能となり、顧客の要望に応えていきます。



## 「太科、新体制スタート」

董事・総経理 有賀 康人

東秀工廠176人と、光徳工廠62人が、一つの工場内に集結して、中国スタッフを中心とした新しい体制でスタートをきりました。それぞれの想いを遠慮せずに意見を出し合い、それを実行できる、太科光学有限公司にしていきます。

トヨタの量産工場として、ますます厳しくなる世界の中でキラリと輝く会社づくりに励みます。

トヨタグループの皆様、宜しくお願い致します。



食堂の様子。女性社員がたくさん活躍しています。



副総経理  
張 偉

董事・総経理  
有賀 康人

経理  
何 麗英



社員駐車場の様子。

10年前は主に役職者が利用していましたが、時代も変わり、車通勤の社員が増えてきています。

中央にはバスケットコートがあります。

## 記念すべき 全体朝礼



2022年7月1日(金)、太科光学の社員総勢238名全員が揃って全体集会を行いました。



同日、食事会を開催しました。今までは忘年会も2工場に分かれて行ってきた事もあり、この日、皆の中で本当の一体化となりました。



日本人も一緒に強いお酒(白酒)で乾杯!

自分らしい働き方を探す

若手社員の声



野澤さんは、大学で教育学部の音楽科を専攻していましたが、就職活動としては地元企業で働きたいということから、製造業であるトヨタテックに入社。持ち前の頑張り精神から、今ではジュコー工場、品質管理部測定Gのサブリーダーとして測定の自動化促進など多岐にわたり活躍しています。

品質管理として  
あるべき姿を追求したい

◆ 今後の目標

品質管理は単に製品を「見る」「測る」だけが仕事ではないと上司から教わりました。合否判定や不良の発見だけでなく、日々の検査データの分析、検査設備、検査方法を的確に管理、実施することで検査体制を強化。工場全体の生産性を向上する事が出来ます。品質管理のあるべき姿を、今後さらに追及していきたいです。今年度から測定Gのサブリーダーとして、人に教えたり、判断を求められる事が多くなりました。未熟さはありますが、報連相を密にし、より自分の成長につなげていきます。

◆ トヨタテックに入社してよかったこと

部署の垣根を越えて先輩や後輩とコミュニケーションをとれる機会が多く、たくさんの方と仲良くなることができ、公私ともに充実しています。



入社4年目  
野澤 健宏  
樹光工場 品質管理部 測定 G

エラーさんは10歳までフィリピンで育ち、その後は日本の小中高で学び、静岡の大学を卒業。自分の能力を活かし、新しい分野に「挑戦」したいとトヨタテックに入社。世界に通用する営業パーソンとなる為、入社後2年間にわたり、製造現場である樹光工場で各部署を計画的に回り、現在は生産管理で研修中。次から次と職場環境が変わる中「絶対に諦めない」というアグレッシブな強い意志で目の前の課題に向き合い、成長に繋がっています。

流れに身を任せ  
経験を成長につなげる

◆ 実務研修期間を振り返って

出荷業務では、自社の製造における基礎知識を学び、品質管理では主に製品の検査を行い、9ヵ月を経て不良品の見分け方を習得する事ができました。また、製造業務では成形材料を乾燥し成形機に入れたり、何トンもある金型を成形機に設置する難しい作業を教わり、やり遂げた時にはやりがいを感じました。

正式な配属とは違い研修という立場であることで、壁にぶつかる時もありましたが、職場の先輩たちの熱心な教育とサポートで乗り越えてこられたと思っています。役職などの立場の違いはあっても、その関係に縛られることなく自由にコミュニケーションを取ることができ、色々な事が得られてとても楽しいです。



入社3年目  
ガリロス エラー ジェーン  
営業部門 (現在は樹光工場にて実務研修中)

田中さんは、理系大学卒業後、光学レンズに興味を持ちトヨタテックに入社。

自動化設備の検討、自社製作の開発部署に配属され、その第一歩としてまずは自動機の構造を覚えることからスタートしました。知識、経験もなく手探り状態でしたが、上司、先輩社員から多くを学び、日々、樹光工場内にある設備のメンテナンスや修理、トラブル対応を任されるようになってきました。

やりがいは、ひとりで  
出来る仕事が増えた時

◆ 嬉しかった事、今後の目標

ある製品の手作業が、強い力が必要で、手が痛くなるという相談を受け、自分なりに検討して手に負担がかからないよう、設備を改造した時、担当の方から感謝されたことが非常に嬉しかったです。今はまだ上司や先輩の力をお借りすることが多いのですが、その中でも一人で対応し解決できた時にやりがいを感じます。早く任されている業務全てを対応し、自動機を製作出来るようになり、会社に貢献したいです。

◆ 職場の雰囲気

上司や先輩は年齢が離れていますが、とても話しやすく、信頼しています。

同じ工場内で、野澤さんやエラーさんのように同世代の先輩が努力されている姿を見て、刺激を受けています。



入社2年目  
田中 俊輔  
生産技術部 生産技術 G

## お悔み



株式会社トヨテック専務取締役  
トーヨーサークル協同組合理事長

大羽 多加志 さん  
享年65歳

株式会社トヨテック専務取締役、トーヨーサークル協同組合理事長の  
大羽多加志さんが、7月24日午前6時49分、心筋梗塞のため、急逝さ  
れました。

大羽専務は平成30年4月1日にトヨテックに入社され、4年4ヵ月と  
短い期間ではありましたが、前職で培ってこられた、豊富な知識と経験  
をもとに、財務管理業務を中心に、在職期間において、様々な改革に多  
大なる功績を残して下さい、今後も社員への教育、育成にご尽力して頂く  
ところでした。その志を遂げることなく、ご逝去されたことは、ご本人も、  
残された社員もただ、残念という言葉しかありません。

大羽専務のお人柄は、社員からの相談事に真摯に向き合い、的確な  
判断と指導から社員の信頼も厚く、向き合ってきて頂きました。

心より大羽専務のご冥福をお祈りいたします。

生前の皆様の  
大羽多加志さんへのご厚情に感謝するとともに、  
この悲しみを社員全員で乗り越えてゆきたい  
と思います。  
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 小野 喜明



## 熱中症を予防しよう！

### ☀️ 水分をこまめにとろう

のどがかわいていなくても、こまめに水分をとり  
ましょう。スポーツドリンク等の塩分や糖分を含  
む飲料は、水分の吸収がスムーズにでき、汗で  
失われた塩分の補給にも繋がります。

### ☀️ 塩分をほどよく取ろう

過度に塩分をとる必要はありませんが、毎日の  
食事を通して程よく塩分をとりましょう。ただし、  
医師から塩分の制限をされている場合は、その  
指示に従いましょう。

### ☀️ 睡眠環境を快適に保とう

通気性や吸水性の良い寝具を使ったり、エアコ  
ンや扇風機を適度に使って睡眠環境を整え、就  
寝中の熱中症を防ぐと同時に、日々ぐっすり眠る  
ことで翌日の熱中症を予防しましょう。

発行所

トーヨーサークル 人財開発部・TOCOM事務局  
豊川市西豊町二丁目35番地  
☎️ 〈0533〉 85-1110 (代)